

(様式2)

# 令和3年度 小林市立細野小学校 学校関係者評価書

項目	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント(○付き数字は重点目標の番号)
ビジョン実現のための重点目標	1 知育	3 3.3	<p>① 学びたい度74.3% 目標達成までもう少し。あと一工夫の努力をお願いしたい。</p> <p>① 「学びたい度」は、教科書や学校だけでは上げることができない項目だと思う郷土愛や地域のことを知るためには、地域の方の協力、また、校内にある「まちづくり協議会」を強みにこれからも取り組んでいただきたい。</p> <p>① タブレット活用で学力向上を期待したい。</p> <p>① ICT活用 キャリア教育の推進により一人1台のタブレットが全学級有効に活用されている。</p> <p>① ICTは、積極的活用100%を目指してほしい。</p> <p>② コロナ対応を機会に家庭との連携、家庭学習の工夫改善により、家庭教育が強化されている。</p> <p>③ 読書活動の推進により一学期で年間目標冊数を達成するくらい頑張った。</p> <p>③ 平均図書貸出数が目標以上であることは、大変いいことだと思う。これが理解力の向上につながることを期待している。</p> <p>④ 鉛筆の持ち方は、小学校低学年のうちに指導を大切をお願いしたい。</p> <p>④ 正しい立腰、鉛筆、箸の持ち方の指導は、日常生活習慣のしつけとして幼少の頃から家庭で教える必要がある。</p> <p>④ 立腰と鉛筆の持ち方は、昨年より悪くなっている。家庭との連携が必要かと思われる。</p> <p>④ 「鉛筆の持ち方」58%が少し気になる数字である。学校だけではなく、家庭での取組も必要だと思う。</p>
	2 徳育	3 3.5	<p>① いじめや不登校の早期発見・早期対応の取組による「いじめ認知解消率100%」は素晴らしい。</p> <p>① 登校を渋る児童が数名いるものの長期の欠席者はいない。いじめや不登校の早期発見、早期対応により解消率100%は素晴らしい。</p> <p>① 「いじめ認知解消率」100%は、素晴らしい数字である。先生方の日々の努力をみることができる。</p> <p>② 登校時のあいさつは個人差がみられる、帰りはみんな元気よくあいさつができています。</p> <p>② あいさつや返事の達成度を上げるためには、目標達成まで全職員での呼びかけを行ってほしい。</p> <p>② 会釈の習慣が身に付いているのはいいことである。</p> <p>② 校内でのあいさつ、地域の方へのあいさつはできていて素晴らしいと思う。ただ小学生と中学生同士がすれ違う時のあいさつはできているのかなと感じることがある。今以上の小中学校での連携をお願いします。</p> <p>③ コロナ禍における人権教育を大切をお願いしたい。</p> <p>③ ふれあい登校日～コロナ禍のため集団登校、学校行事等情報の共有はできなかったが、集団登校時、寒い朝でも声は小さいが、あいさつをしてくれる。</p>
	3 体育	3 3.3	<p>① 体力向上計画による基礎体力、運動能力の向上を図るために運動の楽しさを味わわせる指導、方法の工夫改善がみられる。子供たちに身体を動かすことの楽しさを伝えると、子供は楽しむ。</p>

項目	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント(○付き数字は重点目標の番号)
ビジョン実現のための重点目標	3 3 3	3 3.3	<p>① 細野小学校の選手の皆さん市県駅伝大会でも頑張っていた。</p> <p>② う歯治療率・朝食摂取率は、家庭との連携を密にし、生活習慣定着の取組が大切だと思われる。</p> <p>② おし歯の治療率は、家庭との連携を図り、100%を目指してほしい。</p> <p>② フッ化物洗口の導入が始まったようである。すぐに結果が出るものではないと思うが、どの子供にも平等に与えられる予防の取組である。学校の先生達への負担は増えたと思うが、ぜひ継続していただきたい。</p> <p>② 歯の健康指導を全学年で実施。個別に治療の呼びかけを行うことによりむし歯の治療率80%達成を目指してもらいたい。</p> <p>③ 全校無欠席15日(12月時点。昨年度は8日)は、大変良い結果だと思う。</p> <p>③ 登校を渋る児童、欠席がちな児童への対策もお願いしたい。</p> <p>④ 朝食摂取率が目標以上であることはいいことである。朝、子供たちに「朝ご飯は、食べましたか。」と聞くと、ほとんどの子供が「はい」と元気な返事してくれる。</p> <p>④ 家庭との連携で基本的な生活習慣の定着により、朝食摂取率94%で目標達成。</p>
	4 3 3	3 3.3	<p>① 弁当の日の取組により、「人への感謝」ができ、また朝食摂取率の向上にもつながると思う。</p> <p>① 食育は、家庭との連携を図ることが大切だと思う。</p> <p>① 子供達に「給食は、おいしいですか。」と聞くと、みんな「はい」と答える。ちなみにカレーがおいしいとのことだった。</p> <p>① 家庭との連携を図り、栄養も考慮した朝食摂取率を高めていく必要があると思うので、今後の啓発や取組に期待したい。</p> <p>① 授業参観の時、「命の授業」を見せていただいた。児童も保護者も真剣に聞き入っていた。素晴らしい授業(取組)だと感じた。</p> <p>① 食への正しい理解と適切な食生活習慣の定着を図る。</p> <p>① 弁当の日の取組も定着してきて、達成率97%。</p> <p>① 家庭との連携により、栄養と味のバランスを取り入れた家庭の味がつまった手作りお弁当は美味しいことだろう。昼食時間の笑顔が見えるようである。</p>
人材育成に関する行動計画	3	3.8	<p>① 地域の方に学校の様子や取組を知ってもらうことは、大変意義深いものだと感じる。地区内に回覧されている学校通信は、校長先生の負担になっていると思うが、ぜひ継続していただきたい。</p> <p>① 職員の人材育成のためにオンラインによる中央研修等多種多様な研修の機会が図られた。</p> <p>① 前年度に引き続き、校長先生の地域巡回、校門で先生方のあいさつでの出迎えが実践されている。継続されていることは大変な努力で、ありがたいことである。</p> <p>① 学校でもコロナ感染が確認され、人権教育の真価が問われる時だと思う。他人事ではなく、我々も自覚しなければならない。</p> <p>① コロナ禍において学校での新型コロナウイルス感染症対策においては、児童と教職員の健康管理にご苦労されていると思う。</p> <p>② 自分の働き方を改善できるような意識改革は、自分の時間・生き方・家族を大切にする視点を職員は同じ考えに立って取り組むことが必要かと思う。</p> <p>② 月45時間以上の超過勤務の先生がいるとのことだが、少しでも超過勤務が少なくなるように職員全員で協力していただきたい。</p> <p>② 教職員の働き方改革の推進が図られ家庭と自分、学校現場での創意工夫で心身共にゆとりある充実した家庭生活も意識されるようになった。</p>

